



祝 辞

北海道大学総長

山口 佳三

本日ここに、公益社団法人日本技術士会北海道本部創立 50 周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

公益社団法人日本技術士会北海道本部におかれましては、昭和 41 年の創設以来、技術士業務の啓発、地域経済・産業の発展、科学技術の振興、地域の技術者の育成等の活動を通じて、21 世紀の我が国の目標である科学技術創造立国の実現に大きく貢献しておられます。その長きにわたる御功績に対して、深く敬意を表する次第です。また、技術士の皆様方には日々科学技術の高度の専門応用能力を発揮され、国内の産業育成や国際協力など、国内外で御活躍されておりますことに深く敬意を表します。

グローバル化の進展、知のフロンティアの拡大、世界的な規模で急速に広がるネットワーク化等により、経済・社会が大きく変化するとともに、国内、そして地球規模の様々な課題が顕在化する中で、新たな未来を切り拓き、国内外の諸課題を解決していくためには、我が国の科学技術イノベーション力を積極的に活用し、世界の持続的発展に主体的に貢献していくことが重要となります。このような状況のもと技術士の皆様が社会で果たされる役割は、益々大きくなるものと期待されます。

北海道大学としても、世界の持続的発展に貢献できるグローバルな人材、イノベーション創出を担う人材を育てることは重要な任務であると認識しております。本学においては、優れた研究者や技術者を育成するため、一般社団法人日本技術者教育認定機構 (JABEE) の認定を受けた教育課程を設置しております。学習・教育の達成目標を掲げ、将来の日本及び世界を背負って立つ人材の輩出に取り組んでいく所存です。

さらに、本学は、多様で卓越した知を絶え間なく創出するとともに、その成果を経済的・社会的・公共的価値として速やかに社会に実装することで、我が国及び世界のイノベーションの推進に取り組んでいく所存です。そのため、本学においては、研究成果の社会実装に向けた産学協働及び地域の課題解決に向けた地域協働を推進するため、昨年 4 月に「産学・地域協働推進機構」を設置しました。産学協働の在り方を個人型から組織型へ、技術移転型から研究協働型へと改めることにより、より確実に、より迅速に研究成果の事業化を行い、「実学」へのステージアップを進めるとともに、世界の課題解決に貢献できる大学を目指して参りたいと考えておりますので、皆様の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、公益社団法人日本技術士会北海道本部の益々の御発展と、技術士の皆様の御活躍、御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。